

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ● 黛弘人騎手がJRA通算100勝を達成

8月8日(土)の1回札幌3日・第12レースではヴァイサーリッターが1着となり、同馬に騎乗した黛弘人騎手(美浦・フリー)は、現役82人目となるJRA通算100勝(3016戦目)を達成しました。

### ● 菊川正達調教師が200勝、伊藤正徳調教師は500勝を達成

8月8日(土)の1回札幌3日・第6レースではラッシュアタックが1着となり、同馬を管理する菊川正達調教師(美浦)は、現役104人目となるJRA通算200勝(3768戦目)を達成しました。続く第7レースではシップウが1着となり、同馬を管理する伊藤正徳調教師(美浦)は、現役22人目となるJRA通算500勝(5378戦目)を達成しました。

### ● ペルーサが復活VでJRA勝利間隔最長記録を更新

8月8日(土)の1回札幌3日・第11レースとしておこなわれた札幌日経オープンでは、ペルーサ(牡8歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が2010年テレビ東京杯青葉賞(GⅡ)以来の勝ち星をあげました。勝利から勝利までの間隔は5年3か月6日で、これはアドマイヤセナが2011年に記録した5年2か月16日を更新するJRA最長記録となります。なおペルーサの勝ちタイム2分38秒7は、2012年の同レースでルルーシュがマークした2分38秒8をコンマ1秒更新する、札幌芝2600mのコースレコードでした。

### ● マンハッタンカフェが死亡

8月13日(木)、種牡馬マンハッタンカフェ(牡17歳)が腹腔内腫瘍のため北海道安平町の社台スタリオンステーションで死亡しました。同馬は2002年天皇賞(春)などGI3勝、JRA通算11戦6勝・海外1戦0勝の成績を残して引退。種牡馬としては天皇賞(春)の勝ち馬ヒルノダムールなどの父として知られています。

### ● シャーガーCで武豊騎手の世界選抜は第3位

8月8日(土)、イギリス・アスコット競馬場にておこなわれた「ドバイデューティフリー シャーガーC」に出場した武豊騎手(栗東・フリー)は、5戦に騎乗して4着、3着、8着、6着、8着、計12ポイントという結果でした。シャーガーCは4チームによる対抗戦(1チーム3騎手)として実施されており、優勝は80ポイントを獲得した女性騎手選抜チーム。武騎手の世界選抜チームは66ポイントで第3位でした。また女性騎手選抜チームのS、ベル騎手(イギリス)が35ポイントを獲得、シルバーサドル賞(最多ポイント獲得騎手)に輝いています。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ● ダノンレジェンドがクラスターC(盛岡)を圧勝

クラスターC(JpnⅢ、8月12日、盛岡、1200m)は、差のない2番手から直線入口で先頭に立ったダノンレジェンド(ミルコ・デメーロ騎手、牡5歳、父マッショウノ)が後続を6馬身引き離し、単勝1.4倍の支持に応えて4度目の重賞制覇を果たしました。3番人気のポアズブラック(北海道)が2着に入り、逃げた昨年の覇者サマリーズは4着、エーシンビートルは6着、2番人気のルベゼドランジェは10着に敗れています。

### ● ブリーダーズゴールドCでアムールプリエがサンビスタを下す

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月13日、門別、2000m)は、6番手から追い上げた4番人気のアムールプリエ(浜中俊騎手、牝4歳、父スマートストライク)が、先に抜け出した1番人気の昨年の優勝馬サンビスタをゴール寸前でアタマ差捉え、エンプレス杯に続いて重賞2連勝。2番人気のホワイトファーガは更に5馬身遅れの3着、3番人気のキャニオンバレーは4着でした。なお、アクティビューティは左肩跛行のため出走を取り消しています。

### ● シングルカガらが出走、8月18日のサマーチャンピオン(佐賀)

サマーチャンピオン(JpnⅢ、佐賀、1400m)は、距離延長が微妙もシングルカガが一応中心的存在、以下レーザーバレット、タガノトネール、タガノジンガロ(兵庫)、ピッチシフター(愛知)、キョウエイアシュラまでが争覇圏内と考えられます。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ● 米G1ホイットニーS～オーナーコードが豪脚を見せて差し切る

夏のサラトガ競馬場を代表する米G1のひとつ、ホイットニーS(3歳上、ダート9フ)は8月8日、G1馬7頭を含む9頭で行われ、2番人気のオーナーコード(牡4歳、父エーピーインディ)が後方から4コーナーで最内を突いて上昇、逃げるリアムズマップをクビ差かわして優勝しました。これでメトロポリタンHに次いでG1・2連勝。良馬場の勝ちタイムは1分47秒82。勝利騎手J.カステリャーノ、調教師C.マゴイー。1番人気のトーナリスト(昨年のベルモントS優勝馬)は3着。

### ● モーリスドゲスト賞～ムハーラー、欧州スプリント界の頂点へ

英国のムハーラー(牡3歳、父オアシスドリーム)は8月9日、仏G1のモーリスドゲスト賞(ドーヴィル競馬場、芝直線1300m)に出走し、好位の馬群の中からよく伸び、エズテリクを1/2馬身抑えて人気に応えました。勝利騎手P.ハナガン、調教師C.ヒルズ。馬主ハムダン殿下。良馬場の勝ちタイムは1分15秒33。これで6月のコモウエルスC(英)、7月のジュライC(英)に次いで欧州スプリントG1を3連勝です。通算10戦6勝。